

月刊 やちまなこ

2023. 8.15 発行

No.309

8月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



ヤマセミ (山翡翠 ブッポウソウ目カワセミ科 *Megaceryle lugubris*)

塘路湖に流れ込む川の橋を歩いていると、背後から特徴のある鳴き声がある。振り向くと欄干の上にヤマセミの雌が鎮座しているのではないかと。逃げるそぶりもなく、まるでモデルになった気であるのかと思うほど、顔の角度を変えながら表情を作って時折声を発する。

尾羽を動かしたり顔の角度を変えたりとポーズを取ってくれたが、3分ほどでモデルにも飽きたのか橋の下を流れる川に向かって飛んで行ってしまった。



塘路フィールドノート【7/15~8/14】

【野鳥】

全国的に暑い日が続いた7月でしたが8月に入って猛暑も和らいだ印象です。鳥たちもお疲れと思いきや虫が多いせいか活発に動いているようです。温暖な環境下で繁栄した恐竜の子孫だからでしょうか？



エゾアカゲラ (塘路湖畔)
がんばった子育ては7月初めに終了。後頭部の赤はオスの特徴。



オジロワシ (シラルトロ湖)
狩りに失敗してUターン。たまに水に飛び込んで獲物を捕ることも。



ハリオアマツバメ (塘路湖畔)
飛行しながら水を飲み、眠る。尾の羽軸が突き出して針のようになっているのが名の由来。



ヤマゲラ (コッタロ湿原)
展望台近くの森がお気に入りが高確率で出現。昆虫の他、果実や木の種も食す。



アオジ幼鳥 (塘路湖畔)
地面にいたことが多いですが、人を察知すると無言で枝に舞う。



マガモ (塘路湖)
ファミリーにとってお気に入りの寝場所のようでいつも見かける。夜活発に行動。

【植物】

ここ数年にないほどの早さで花が咲いたと思ったら終わるのも早い。連日真夏の暑さが続いています、植物たちは秋に向かってしっかり準備しているようです。



オニグルミ (鬼胡桃)
今年は結実が早く成熟も早い印象。豊作の予感。アレロパシー (他感作用) がある。



コウライテンナンショウ (高麗天南星)
毒性はシュウ酸カルシウム。アイヌは晩秋の球根を加熱調理して食用にしていた。



エゾミソハギ (蝦夷稗萩)
最盛期は8月のはずが、7月下旬には終わりをかけていた。



ミツバフウロ (三葉風露)
フウロソウ科。ゲンノショウコの仲間。8月に咲く花ですが今年は開花が早い気が。



イシミカワ (石見川)
茎に下向きのトゲがあり他の植物をよじ登って成長する一年草。青い実は目立つ。



ハッカ (薄荷)
7月下旬から8月上旬にかけて塘路湖畔に咲いている。シソ科。

【昆虫】

猛暑は昆虫にとっては願ったりかなったりなのでしょう。例年に比べて姿を見る機会も多く、キリギリスなどのバッタ類の鳴き声で賑わっています。夏のトンボも出そろってきました。人を襲うスズメバチも増えて要注意。



コオニヤンマ (塘路湖)
縄張りパトロール後に日当たりの良い陸地で休憩。サナエトンボ科。



ルリボシヤンマ (シラルトロ湖畔)
平地の水辺から標高の高い山地まで分布している大型のトンボ。ヤンマ科。



クロイトトンボ (塘路湖)
湖面すれすれに飛翔する連結したペアが良く見られる。イトトンボ科。



ハネナガキリギリス (コッタロ湿原)
声は聞こえるが姿が見えない代表。たまたまササの葉上にいた。翅長蝽。



ジヤノメチョウ (塘路湖畔)
蛇目蝶。幼虫はイネ科、カヤツリゲサ科を食草とする。



ヒメクサキリ (塘路湖畔)
ジ、ジ、ジーーと鳴いていたらこいつが隠れている。姫草蝽。

◎夏の湖畔散策会は中止となりました

7月15日(土) 予定の夏の湖畔散策会は悪天候のため中止となりました。残念。

◎摩訶不思議なキノコの世界

夏休みの8月5日、茅沼蝶の森にてキノコ観察会を行いました。キノコの見分け方として外観のほか匂いや折れ方、割け方によっても、キノコの分類がわかることを講師から説明を受け、また、試薬をかけてその部位が何色に変色するのかを参加者に予想してもらい新しい観察方法を試みました。ちびっ子キノコ博士たちの中には、「傘の裏がカンコウだ」とするどい指摘をする子や、猛毒であるドクツルタケをひと目で見分ける子供もいて、親御さんたちがご自身の子供たちに教わるという一風変わった大人顔負けの観察会となりました。

確認種 17 種以上 参加者 14 名



観察風景&ドクツルタケ

9月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

秋のキノコ観察会

[日 時] 9月2日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 茅沼蝶の森(集合場所はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

アイヌの自然観～植物編～

[日 時] 9月3日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター(0154-65-2323)まで

◆日出・日入時間 8/15(4:26,18:25). 8/31(4:44,18:00). 9/14(4:59,17:35)

～指導員の独り言～

■今夏は非常に暑かったせいか、塘路湖やシラルトロ湖の水草が覆う面積がかなり増えている印象だ。シラルトロ湖などそのうちヒシを中心とした水草ですべて覆われてしまうのではないかという勢いがある。さらにはエゾシカがかなりの深さまで入り込んでその水草を食している。夏にたっぷり栄養を付けたエゾシカが秋には繁殖期を迎える。自然豊かな風景とも言えるだろうが、逆に増えすぎるエゾシカへの恐怖も感じる。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@kushiro-shitsugen-np.jp

Instagram [torokoemc](https://www.instagram.com/torokoemc)

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料